

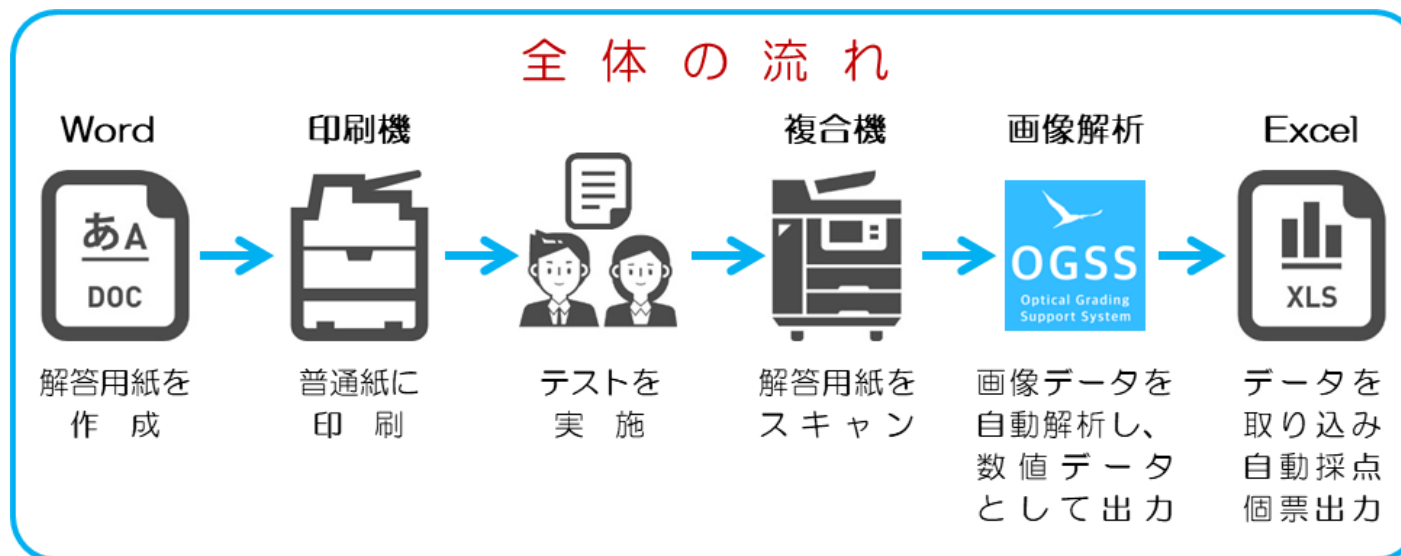


# 光学式採点 支援システム

## サポートマニュアル

2021.9/15 Ver.1014\_1 1版

## OGSS を核とした採点システムの基本的な流れ



解答用紙・・・Word ファイルのひな形あります。必要箇所を修正し利用してください。

印刷・・・普通紙に基本設定で印刷して問題ありません。製版する時、**用紙が斜めにならない**ように注意してください。

スキャン・・・【j p g】【**グレースケール**】【**200dpi**】でのスキャンを推奨しています。

画像解析・・・OGSSを用いて画像データを読み込み、数値データにします。ここでは、設問に対する応えのみが CSV ファイルで出力されます。採点は次の Excel ファイルで行います。

採点・・・【OGSS 採点】という Excel ファイルで採点を行います。生徒配布よりの個票もこのファイルで作成します。

# 目次

1. 【OGSS 採点.xlsm】について	1
2. 定期テストのフォルダを作成する	2
3. 【OGSS 採点.xlsm】の初期設	3
4. 正答と配点の入力	6
5. 解答用紙について	11
6. 解答用紙のスキャン	13
7. スキャン画像の振り分け	14
8. CSV ファイルの保存	15
9. CSV ファイルの取り込み	16
10. 個票の出力	17

# 1. 【OGSS 採点.xlsm】について

ファイル全体の基本のルールとして、ユーザーが変更可能なセルは白色、赤枠。変更不可のセルはグレーになっています。また、誤操作防止のためグレーセルにロックがかかっています。パスワードはかけていませんので、ロックを解除して編集することも可能です。

CSV ファイル取り込みにマクロ機能を使っており、その際、取り込みデータを一部書き換えます(元のCSVファイルは変更されません)。そのため、マクロ機能をオンにして利用してください。

OGSS採点の特徴として、一般的なクラスではなく、【群】という単位で集計します。

これは、2クラス3展開などの合同クラスに対応するためです。例えば 1 組と2組の生徒を1つの【群】としてまとめて扱うことができます。選択授業の場合などでも、選択している生徒のみを登録することができます。

また、10クラス以上ある場合も考え、生徒の出席番号は5桁で表記します(生徒コード)。

例) 3年4組 15番 → 30415 (生徒コード)

学年、正答シートを入力し、CSV ファイルの取り込みを行うと、自動で集計され個票が印刷できる状態になります。

採点ファイルは以下のようなシート構成になっています。赤字のシートは入力が必要なシートです。

## 1. 設定

このシートが入力の基本のシートです。生徒の登録を行います。また、得点等も表示されます。

## 2. 正答(入力用)

テストの正答や配点などを入力するシートです。

## 3. 正答(配布用)

正答と配点のみが印刷できるシートです。正答(入力用)シートとリンクしているので、入力する必要はありません。

## 4. 群別分析表

群ごとの生徒の得点の一覧表です。閲覧、印刷用です。

## 5. 正答率

## 6. 1群~9群

CSV ファイルを取り込むシートです。取り込み後、数値の変更なども行えます。

## 7. 1群個票~9群個票 個票の印刷用シートです。

## 8. 生徒名簿

生徒名簿を張り替えて利用してください。学年、クラス、番号は全て別のセルになるように元データを編集してください。あらかじめ入っている名簿はダミーデータです。

## 2. 定期テストのフォルダを作成する

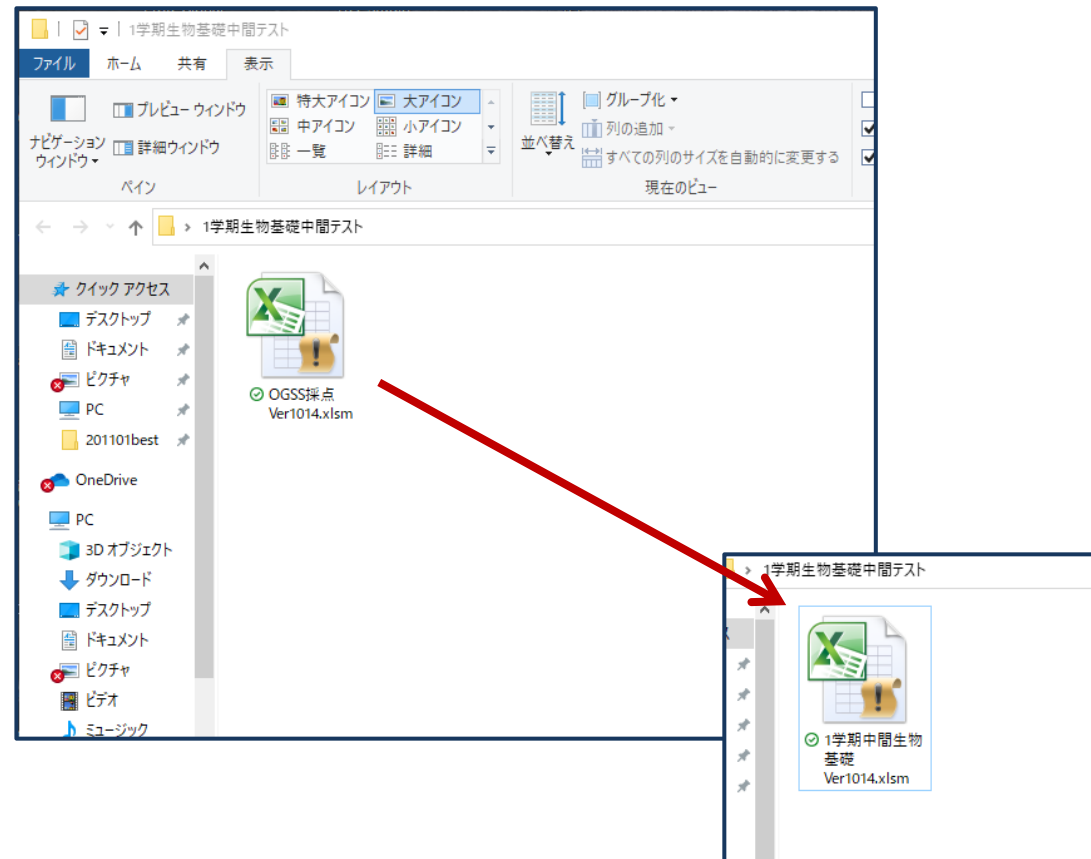
新しくフォルダを作成し、そこに【OGSS 採点.xmlms】ファイルのコピーします。

デスクトップにフォルダをつくるのがオススメです。また、校内サーバーではなく、ローカルディスクに作成してください。

例えば、1 学期中間テストならその名前のフォルダを作ります。

【OGSS 採点 Ver.1014.xmlms】を別の名前に変更しても問題ありません。

【OGSS 採点 Ver.1014.xmlms】を開きます。初期設定を行います。



ファイルの名前は変更しても大丈夫ですが（しなくもOK）、Ver 情報は残しておくとう便利です。

### 3. 【OGSS 採点.xlsm】の初期設定

- (A) 生徒名簿を貼りかえる
- (B) 生徒を登録する
- (C) 画像保存フォルダを作成する

#### (A) 生徒名簿を貼りかえる

一番後ろにある【生徒名簿】シートの名票を張り替えます。あらかじめ入っている名票はダミーデータです。学年、クラス、出席番号、氏名、ふりがなが別々のセルになるように元データを編集してください。

一番左の列（A列）に5ケタの生徒コードが自動で作成されます。

例) 3年4組 15番

→ 30415（生徒コード）

ここで作成された生徒コードを使って【設定】シートで生徒登録を行います。

	A	B	C	D	E	F	G
1	生徒コード	年	組	番	氏名	ふりがな	
2	100000	10	0	0	両面	読み取りエラー	
3	100001	10	0	1	表面	読み取りエラー	
4	100002	10	0	2	裏面	読み取りエラー	
5	10101	1	1	1	坂東 琴乃羽	バンドウ コノハ	←生徒
6	10102	1	1	2	野崎 智	ノサキ サトシ	
7	10103	1	1	3	菅 雄生	カン ユウセイ	
8	10104	1	1	4	板倉 悠斗	イタクラ ユウト	
9	10105	1	1	5	今村 寿男	イマムラ トシオ	
10	10106	1	1	6	有賀 美波	アリガ ミナミ	
11	10107	1	1	7	奈良 由美子	ナラ ユミコ	
12	10108	1	1	8	江川 南	エガワ ミナミ	
13	10109	1	1	9	五十嵐 梓真	イガラシ アズマ	
14	10110	1	1	10	平林 美里	ヒラバヤシ ミサト	
15	10111	1	1	11	矢沢 千佐子	ヤザワ チサコ	
16	10112	1	1	12	石渡 理絵	イシワタリ リエ	
17	10113	1	1	13	増山 勇二	マシヤマ ユウジ	
18	10114	1	1	14	石川 重樹	イシカワ シゲキ	
19	10115	1	1	15	富田 昭彦	トミダ アキヒコ	
20	10116	1	1	16	窪田 一磨	クボタ カズマ	
21	10117	1	1	17	諏訪 綾	スワ アヤ	
22	10118	1	1	18	西山 春華	ニシヤマ ハルカ	
23	10119	1	1	19	青木 正巳	アオキ マサミ	
24	10120	1	1	20	大野 裕仁	オオノ ヒロヒト	
25	10121	1	1	21	大下 誓三	オオシタ セイゾウ	
26	10122	1	1	22	平尾 泰史	ヒラオ ヤスフミ	
27	10123	1	1	23	笹本 竜三	ササモト リュウゾウ	
28	10124	1	1	24	柳沢 日菜	ヤナギサワ ヒナ	
29	10125	1	1	25	佐伯 忠良	サエキ タダヨシ	
30	10126	1	1	26	宮原 知世	ミヤハラ トモヨ	

## (B) 生徒を登録する

【設定】シートで生徒登録を行います。

### ①クラス名を入力する

クラスのセルが空欄だと、得点集計がされません。

クラス名は任意に設定することができますが、全角半角は区別されるので注意して入力してください。OGSS から出力された CSV ファイルの名称と、このクラスの名称が同じでないとデータの取り込みが行われません。

### ②生徒コードを入力する

5 ケタの生徒コードを入力してください。生徒の氏名が表示されます。

クラスの異なる生徒を一つの群に登録することができます。

※一学期の期末テストは一学期の中間テストのファイルをコピーすれば使いまわせます。①と②の設定は最初の一回だけで大丈夫です。

### ③必要な情報入れる

テストに合わせて変更して下さい。

1学期中間生物基礎Ver1014.xlsm - Microsoft Excel

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
科目名	生物基礎	登録人数	受験者数	未受験	平均点	標準偏差	最高点	最低点	34点以下	実施日	年	月	日														
テスト名	1学期期末	158	116	42	57.7	17.8	88	11	12		2021	7	9														

1群	登録生徒数	受験者数	未受験	平均点	最高点
40	0	40	#####	0	

2群	登録生徒数	受験者数	未受験	平均点	最高点
39	38	1	54.8	81	

① ② 生徒コードを入力 ※クラス名は任意ですが、必ず入力して下さい

↓クラス名、生徒コードを入力 ※クラス名は任意ですが、必ず入力して下さい

クラス	2-2	氏名	ふりがな	得点	学年順位	偏差値
1	20201	前原 颯斗	マエハラ ハヤト	未	—	—
2	20202	村井 芳夫	ムライ ヨシオ	未	—	—
3	20203	北川 久子	キタヤマ ヒサコ	未	—	—
4	20204	増井 小百合	マスイ サユリ	未	—	—
5	20205	福嶋 紬	フクシマ ツムギ	未	—	—
6	20206	塚越 一宏	ツカゴシ カズヒロ	未	—	—
7	20207	中島 奈保美	ナカオ ナホミ	未	—	—
8	20208	河上 蒼河	カワカミ ソウガ	未	—	—
9	20209	国分 博文	クニヅ ヒロフミ	未	—	—
10	20210	金森 悠里	カナモリ ユウリ	未	—	—
11	20211	益子 康代	マスコ ヤスヨ	未	—	—
12	20212	安達 祐二	アダチ ユウジ	未	—	—
13	20213	落合 花名	オチアイ ハナ	未	—	—
14	20214	北山 秀男	キタヤマ ヒデオ	未	—	—
15	20215	板谷 敬一	イタクラ ケイイチ	未	—	—
16	20216	小川 貞治	オガワ テイジ	未	—	—
17	20217	菅原 順司	スガハラ ジュンシ	未	—	—
18	20218	江成 悠和	エナリ ユウワ	未	—	—
19	20219	堀江 琴羽	ホリエ コトハ	未	—	—
20	20220	宮城 元夫	ミヤギ モトオ	未	—	—
21	20221	白鳥 義光	シロトリ ヨシミツ	未	—	—

クラス	2-4	氏名	ふりがな	得点	学年順位	偏差値
1	20401	上岡 敦彦	カミオカ アツヒコ	79	10	62.0
2	20402	塩崎 克己	シオザキ カツミ	54	69	47.9
3	20403	菊池 亜弓	キクチ アユミ	59	61	50.7
4	20404	手島 裕久	テジマ ヒロヒサ	80	8	62.5
5	20405	村岡 樹里	ムラオカ ジュリ	60	57	51.3
6	20406	岡村 豊子	オカムラ トヨコ	38	99	38.9
7	20407	玉置 桃子	タマキ モモコ	77	16	60.8
8	20408	難波 千鶴子	ナンバ チヅ子	45	87	42.9
9	20409	菅沼 雄也	スガヌマ ユウヤ	47	82	44.0
10	20410	加納 真帆	カナノ マホ	11	116	23.8
11	20411	乾 邦雄	イヌイ クニオ	64	49	53.5
12	20412	江崎 奈那	エザキ ナナ	40	95	40.1
13	20413	上杉 仁明	ウエスギ ヒトアキ	35	104	37.2
14	20414	三橋 哲雄	ミハシ テツオ	46	85	43.4
15	20415	塩崎 愛花	シオザキ アイカ	65	42	54.1
16	20416	中野 林檎	ナカノ リンゴ	49	78	45.1
17	20417	川上 哲郎	カワカミ テツロウ	81	7	63.1
18	20418	陳 孝明	チン タカアキ	51	75	46.2
19	20419	梶 由乃	カジ ヨシノ	57	66	49.6
20	20420	児玉 健太郎	コダマ ケンタロウ	36	101	37.8
21	20421	村田 成光	ムラタ ナルミツ	65	42	54.1

### (C) 画像保存フォルダを作成する

回収した解答用紙をスキャンした画像を保存するためのフォルダを作成します。群ごとに分けて画像を保存すると管理しやすいです。

①【設定】シートの【新規フォルダ作成】ボタンをクリックします。

自動でOGSS採点ファイルがある場所と同じフォルダに、クラス名が付いたフォルダが作成されます。

複合機でスキャンしたデータは校内サーバーに保存されると思います。とりあえずサーバーから一時保存フォルダにスキャン画像を移動させ、そこから各クラスにデータを割り振るといいと思います。

また、スキャンする場合、クラス（群）ごとに分けてスキャンさせた方が、管理しやすいです（クラスごとに連番になるため）。

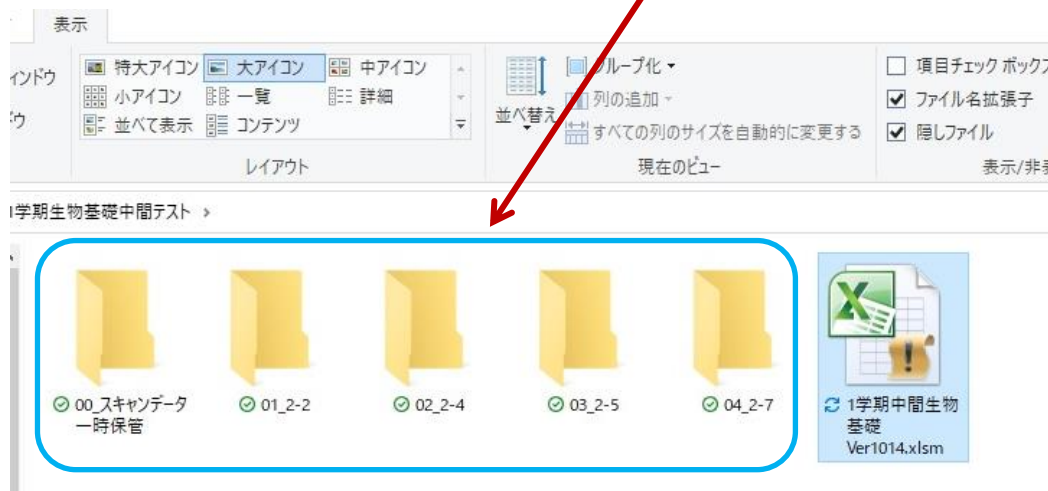
受験	平均点	標準偏差	最高点	最低点	34点以下	実施日	年	月	日	OGSS採点
42	57.7	17.8	88	11	12		2021	7	9	2021/9/

均点	最高点	2群	登録生徒数	受験者数	未受験	平均点	最高点
###	0		39	38	1	54.8	81

順位	偏差値	クラス	氏名	ふりがな	得点	学年順位	偏差値
1		20401	上岡 敦彦	カミオカ アンビコ	79	10	62.0
2		20402	塩崎 克己	シオザキ カツミ	54	69	47.9





## 4. 正答と配点の入力

- (A) 基本の設定
- (B) 順不同の設定
- (C) 完全解答の設定
- (D) 複数回答可
- (E) 記述問題

正答（入力用）のシートで行います。ファイル内はすべてリンクしているので、正答と配点はこのシート以外で入力する必要はありません。

### (A) 基本の設定

#### ①一問一答の場合

そのままセルに正答と配点を入力してください。

#### ②選択肢を10個以上つくりたい場合

選択肢は通常10個ですが、もっと選択肢を増やしたい場合、右の方法で増やすことができます。

正答には、25 や 37 とそのまま数値を入力して問題ありません。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	複数解答可																	
2	完全解答																	
3	順不同																	
4	問題番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
5	正答		4	1	9	8	2	10	4	5	2	3	16	48	26	39	19	5
6	配点		1	1	1	1	3	3	3	1	1	1	3	1	1	1	2	2
7																		
8	複数解答可																	

問1. 文の(a)～(f)に当てはまる語句を以下の語群から選び記号で答えなさい。

※解答は以下のように記入すること

例：99 に【25. 鉄】を解答したい場合、99 の欄に②と⑥を2個マークする。

99	①	●	③	④	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

15. 白色矮星	16. 星間ガス	17. 核融合	18. 核分裂	19. ブラックホール
25. 鉄	26. 惑星状星雲	27. Tタウリ型	28. 水素	29. 主系列星
35. 原始太陽	36. ガス	37. ヘリウム	38. 巨星	39. 超新星
45. デススター	46. 暗黒星雲	47. ダークマタ	48. リチウム	49. M78 星雲

OGSSでは②と⑤の両方にマークされたら認識します。マーク1個のみ場合、csv出力では④→4、⑩→10と出力されますが、マーク2個の場合、例えば②と⑤の場合、csvファイルは25と出力されます。採点ファイル内で25を25に自動変換します。



### (C) 完全解答の設定

順不同のときと同様に完全解答のセルに数字を入力して、グループの設定をします。

配点の入力方法に注意が必要です。まず、グループの最初の問題に配点を入力します。次の問題からは完答と入力してください。数字が入力されていると正しく採点されません。

(例1)

1587年、( a )の変で、織田信長は( b )に打ち滅ぼされた。

(a) → 、(b) →

①延暦寺 ②本能寺 ③明智光秀 ④徳川家康

66に②、67に③と答えないと正解にならない。②、④では0点。

(例2) 注意

以下の文章で正しいものを2つ選びなさい。

、

- ①ペンギンは鳥の仲間である。
- ②コウモリは鳥の仲間である。
- ③ツバメは鳥の仲間である。
- ④トンボは鳥の仲間である。

66に①、67に③で正解になるが、66に③、67①をだと不正解になってしまいます。「記号は小さい順に記入しなさい」などの指示が必要。

14											
15	複数解答可										
16	完全解答		1	1	1						
17	順不同										
18	問題番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
19	正答	6	8	5	9	1	4	1	4	7	1
20	配点	1	3	完答	完答	2	1	3	2	2	1
21											

グループの最初の1問に配点を入力する。残りは「完答」と入力する。他の文字列では認識できません。

## (D) 複数解答可の設定

完全解答の例2のような問題で 1 個の解答欄で解答させたい場合に使います。

複数回答可のところに数字を入力する。

(例)

以下の文章で正しいものを2つ選びなさい。

66

②と④を選択する場合以下のように記入すること

99	①	<input checked="" type="radio"/>	③	<input checked="" type="radio"/>	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
----	---	----------------------------------	---	----------------------------------	---	---	---	---	---	---

- ①ペンギンは鳥の仲間である。
- ②コウモリは鳥の仲間である。
- ③ツバメは鳥の仲間である。
- ④トンボは鳥の仲間である。

正答の入力方法

答えが①、④の場合 → 1,4

答えが②、④、⑥の場合 → 2,4,6

半角数字と半角のコンマのみ

※スペースは入れない

×1,4 (数字が全角)

×1, 4 (スペースが入っています)

完全に一致している場合のみ得点になります。

21										
22	複数解答可	1		2						
23	完全解答									
24	順不同									
25	問題番号	61	62	63	64	65	66	67	68	69
26	正答	3,4	6	1,3,6	6	3	3	キ	1	
27	配点	1	1	1	2	2	1	3	2	
28										

③と④をマークしないと得点になりません。③のみまたは①、③、④と答えても0点です。

## (E) 記述問題の設定

記述問題は正答欄に キ と入力してください (全角カタカナの「キ」)。

その後、下の段で部分点の設定を選びます。

部分点を設定しない場合

部分点の項目を なし に変えてください。

部分点を設定する場合

部分点の項目を あり に変えてください。

△の配点を設定します。

OGSS の記述問題は△1、△2、△3と3種類選択できますが、OGSS 採点では△1、△2にのみ対応します (△3には動作しません)。

部分点は満点の分数の割合で得点が入ります。

例えば、満点が6点の問題で、

△1→1/3、△2→1/2 と設定すると、△1→2点、△2→3点となります。

割合は設問ごとに変えることができます。

満点が3点の別の問題で、△1→2/3、△2→1/3と設定すると、△1→2点、△2→1点となります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	複数解答可												
2	完全解答												
3	順不同												
4	問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
5	正答	キ	キ	キ	キ	2	10	4	5	2	3	16	
6	配点	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	3	

「キ」と入力すると部分点の設定が表示される

35													
36	問題番号	1	2	3	4								
37	部分点	なし	なし	あり	あり								
38	● ●	△1	あり	1/3	1/3								
39	● ○	△2	なし	1/2	1/2								
40	○ ●	○	1	1	1	1							
41	○ ○	×	0		0	0							
42													

部分点のあり、なしをリストから選択する。

部分点は分数で入力。満点に対する割合で点数が計算されます。この分数は変更することができます。

OGSS で記述問題採点を行うと、○、×、△1、△2、△3でCSVファイルに出力されます。OGSS 採点に取り込むと○→キ、×→(未記入)、△1→設定した分数、△2→設定した分数、△3→△3(得点計算されません)と自動で変換されます。

## 5. 解答用紙について

(A) 基本の使い方

(B) 解答用紙の名称と機能

### (A) 基本の使い方

Word ファイルのひな形があります。自作も可能ですが、初めはひな形をベースに必要な部分を修正して使うのがいいと思います。

問題数が多く選択肢が多い場合は、3段 75問のシートがお勧めです。100問のシートもありますが、解答欄が狭くなってしまいます。目がチラチラすると生徒から指摘がありました。

問題数が少なく、論述的な記述問題を含む場合は2段 40問などが使いやすいです。

複数行を結合し解答欄を作る場合の注意点  
図のように26～29番を記述欄にした場合、問題番号を単独で26番とはせず、26～29として番号を振って下さい。そして、次の問題を30番からにして下さい。採点や個票とズレが生じてしまいます。

生物基礎 2学期中間

学年	① ② ③ ④ ⑤	番号10位	① ② ③ ④ ⑤
組	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	番号1位	① ② ③ ④ ⑤
		氏名	

1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	26		51	① ② ③ ④ ⑤
2	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	27		52	① ② ③ ④ ⑤
3	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	28		53	① ② ③ ④ ⑤
4	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	29		54	① ② ③ ④ ⑤
5	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	30	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	55	① ② ③ ④ ⑤
6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	31	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	56	① ② ③ ④ ⑤
7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	32	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	57	① ② ③ ④ ⑤
8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	33	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	58	① ② ③ ④ ⑤
9	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	34	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	59	① ② ③ ④ ⑤
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	35	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	60	① ② ③ ④ ⑤

2				
5	26	27	28	29
4	キ	キ	キ	キ
2	4	0	0	0

配点の設定はこのような最初の番号に配点し、残りは0点として下さい。

問1. ○○について記述しなさい。 26～29

問2. 以下の選択肢から記号で答えなさい。 30

解答用紙は印刷機を使って普通紙に通常の印刷と同じ要領で印刷し、利用することができます。製版する際には、解答用紙が斜めにならないように、歪みやカスレがないように注意してください。

## (B) 解答用紙の名称と機能

ガイドレーンのエリアには書き込みを行わないで下さい。読み込みができなくなります。

セクション1 (パート1→2)、セクション2 (パート1→2→3) の順番に問題を読み込んでいきます。

出席番号の0はCSVファイルでは「10」と出力されてしまいます。OGSSは自由度を高めるため、あえて出席番号の欄を作りませんでした。そのかわり、セクションで管理し様々な形式の用紙を読み込めるようにしています。例えば、大学の学籍番号の形式だと右のひな形は使えませんが、セクション管理ならば、ガイドマークの工夫次第で対応可能になります。一方でパート内の一番左のマークボックスを1とするルールから、0の出力が出来ません。0が必要な場合は、出力されたCSVファイルを編集するなどの操作をすれば良いと思っています。

上記理由から0は出力されませんが、自動で修正されます。しかし、出力ファイルには10となります。ご注意ください。

科学と人間生活 3学期期末

<b>セクション1</b>		パート1	パート2
学年	3	番号0位	/
組	5	番号1位	0
		氏名	

<b>セクション2</b>		パート1	パート2	パート3
1	●	●	●	●
2	●	●	●	●
3	●	●	●	●
4	●	●	●	●
5	●	●	●	●
6	●	●	●	●
7	●	●	●	●
8	●	●	●	●
9	●	●	●	●
10	●	●	●	●
11	●	●	●	●
12	●	●	●	●
13	●	●	●	●
14	●	●	●	●
15	●	●	●	●
16	●	●	●	●
17	●	●	●	●
18	●	●	●	●
19	●	●	●	●
20	●	●	●	●
21	●	●	●	●
22	●	●	●	●
23	●	●	●	●
24	●	●	●	●
25	●	●	●	●
26	●	●	●	●
27	●	●	●	●
28	●	●	●	●
29	●	●	●	●
30	●	●	●	●
31	●	●	●	●
32	●	●	●	●
33	●	●	●	●
34	●	●	●	●
35	●	●	●	●
36	●	●	●	●
37	●	●	●	●
38	●	●	●	●
39	●	●	●	●
40	●	●	●	●
41	●	●	●	●
42	●	●	●	●
43	●	●	●	●
44	●	●	●	●
45	●	●	●	●
46	●	●	●	●
47	●	●	●	●
48	●	●	●	●
49	●	●	●	●
50	●	●	●	●
51	●	●	●	●
52	●	●	●	●
53	●	●	●	●
54	●	●	●	●
55	●	●	●	●
56	●	●	●	●
57	●	●	●	●
58	●	●	●	●
59	●	●	●	●
60	●	●	●	●
61	●	●	●	●
62	●	●	●	●
63	●	●	●	●
64	●	●	●	●
65	●	●	●	●
66	●	●	●	●
67	●	●	●	●
68	●	●	●	●
69	●	●	●	●
70	●	●	●	●
71	●	●	●	●
72	●	●	●	●
73	●	●	●	●
74	●	●	●	●
75	●	●	●	●

上部起点マーク

横軸ガイドレーン  
(パート設定レーン)

セクション終了マーク

縦軸ガイドレーン  
(セクション設定レーン)

(縦軸) ガイドマーク

マークボックス

セクション終了マーク

横軸ガイドレーン  
(パート設定レーン)

(横軸) ガイドマーク

## 6. 解答用紙のスキャン

テスト終了後スキャンします。事務にある複合機を使うと便利です。

注意点は、

【**グレースケール、jpg、200dpi**】

**クラス（群）ごとにまとめて**

シートを取り込むことです。

クラスごとに読み込むと画像ファイルの名前がクラスごとに連番になるので、後で整理するときに楽になります。

### ●グレースケール

一般的なスキャナは白黒化（2値化）した状態で取り込むことができます。しかし、設定の方法がちまちまであるため、OGSSが上手く読み取れない可能性があります。OGSSは2値化機能を有しているので、グレースケールでスキャンし、OGSSで2値化をしてください。2値化をすることで薄い色のマークを真っ黒にして読み取ることができます。色の明るさは0～

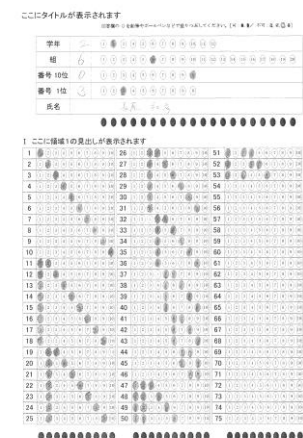
255までありますが、数字が大きくなれば白に近づきます。OGSSのデフォルト値は220で設定しています。かなり薄いマークも読み取れますが、綺麗に消し切れていないものをマークしていると誤判読してしまうことがあります。

### ●jpg

OGSSはjpg画像の入力を基本としており、PDFファイルの読み込みは出来ません。一般的な複合機はjpg画像を読み込めますので、jpgで保存して下さい。

### ●200dpi

dpiに関してOGSSは決まった数値はありません。そのスキャナの設定で構いませんが、あまりdpiが高いとデータの容量が大きくなり、処理に時間がかかります。設定できるなら、150～200dpiぐらいがいいかと思います。※300dpiは一般書籍の画像印刷に必要な解像度といわれています。マーク読み取りに限って言えば、300dpiでは重くなるだけで良い事はありません。



↑グレースケール



↑2値化画像



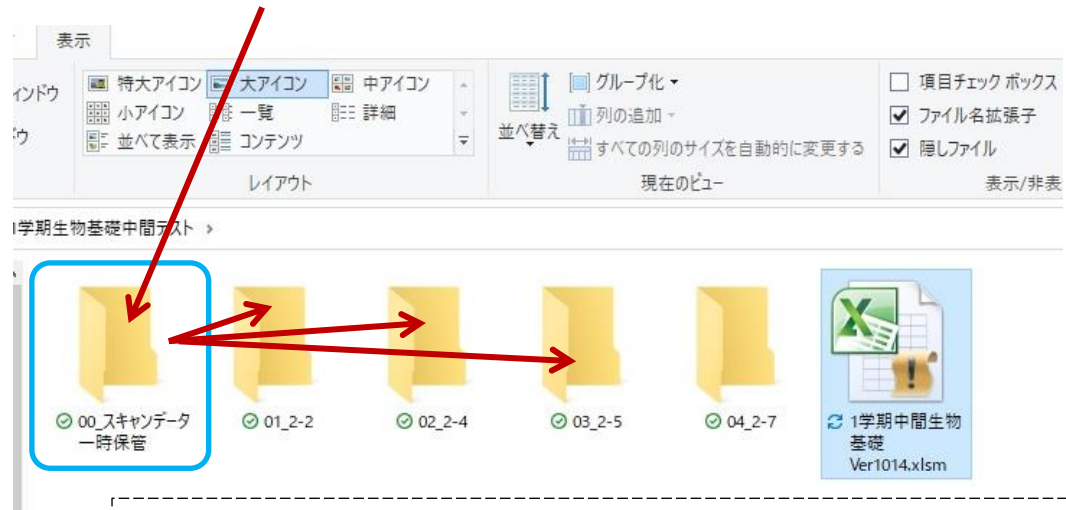
## 7. スキャン画像の振り分け

スキャンした画像を、画像保存フォルダに振り分けていきます。

複合機でスキャンした場合、校内サーバーに画像がアップロードされると思います。サーバーからまとめて一時保存フォルダに移し、その後、クラス（群）ごとのフォルダに振り分けていくと効率が良いと思います。

OGSSはフォルダ内のファイルを全て読み込みます。一部の画像を選択し読み込むことは出来ません。フォルダ内の全ての画像がデータ化されます。そして、【OGSS 採点.xlsm】は群ごとにデータを取り込むので、画像は群ごとに分かれている必要があります。

校内サーバーからとりあえず一括でデータをローカルディスクに移す



一時保管フォルダから群ごとのフォルダに振り分ける。

サーバーから直接各群に振り分けてもいいのですが、他の先生もスキャンをしていると後から似たようなデータが追加されます。結構混乱するので、スキャン後すぐに自分のデータを一括でローカルディスク（PCのハードディスク等）に移すことをお勧めします。また、サーバーにはデータを残さない方が容量を圧迫しないので良いかと思います。

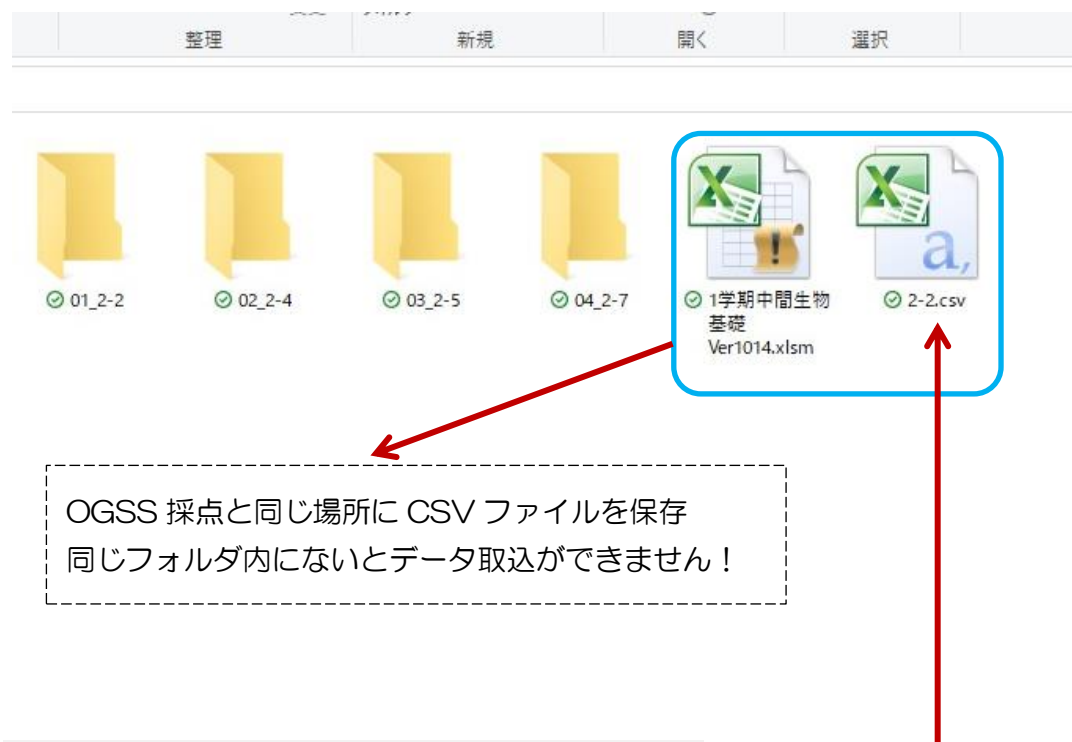
## 8. CSV ファイルの保存

OGSS の操作については別紙の操作説明書を  
確認して下さい。

### CSV ファイルの保存場所

OGSS から出力される CSV ファイルの保存場  
所は【OGSS 採点.xlsm】と同じフォルダに保  
存して下さい。

また、ファイル名も群の名前と同じにして下さ  
い。漢字も使えます。特に数字や記号の場合、  
全角、半角は区別されるので気を付けて下さい。



1群	登録生徒数	受験者数	未
	40	0	4
↓クラス名、生徒コードを入力 ※クラス名は付			
クラス	2-2	氏名	ふりがな
1	20201	前原 颯斗	マエハラ ハヤト
2	20202	村井 芳夫	ムライ ヨシオ
3	20203	北山 夕子	キタヤマ ユサコ

CSV ファイルの名前と群の  
名前が完全に同じでないと  
データ取込ができません。  
全角、半角は別物として認識  
されます。

## 9. CSV ファイルの取り込み

OGSS で出力された、CSV ファイルの取り込みは、【OGSS 採点.xlsm】ファイルの群シートから行います。

①【CSV 取り込み】ボタンをクリックします。自動でデータが取り込まれます。

セルの色が変わる場合があります。緑色になっているセルは空欄（マークを塗りつぶしてない）と判断されたものです。極端に空欄が多い生徒は読取ミスの可能性があります。

オレンジ色のセルはマークの塗り間違えの可能性を指摘しています。

- ・1 個のマークで解答するべき問題に 2 個マークしている
  - ・2 個のマークで解答するべき問題に 1 個マークしている場合
- どちらの場合も色が変わります。  
記述問題も色がオレンジになります。

解答用紙は出席番号順になっていなくても問題ありません（管理上、出席番号順の方が望ましいですが）。欠席や休学などで生徒が未受験でもそのまま集計できます。気なる場合は並べ替えボタンを押すと出席番

群	登録人数	未受験者↓	受験者→	正答	記述問題修正	配点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
1群	40	1	39				3	7	10	1	4	1	キ	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
2-2							3	7	10	2	4		キ	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							3	7	10	3	3	2	1/3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							22	2	3	7	10	4	4	6									
							9	5	3	7	10	3	10	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							8	7	3	7	10	6	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							9	7	3	7	10	7	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							8	7	3	7	10	8	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							10	5	3	7	10	9	4	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							7	7	3	7	1	10	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							7	7	3	7	1	1	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							9	5	3	7	1	2	4	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							10	5	3	7	1	3	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							7	7	3	7	1	4	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							7	7	3	7	1	5	3	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7
							10	5	3	7	1	6	4	6	7	5	9	3	2	3	2	6	7

号順になります。

生徒が出席番号のマークを間違えた（意外とあります）場合で、番号がかぶった場合、出席番号が赤くなります。確認に便利です。

空欄の数や、読取ミスの可能性の集計です。極端に数値が多いとチェックした方がいいかもしれません。10 個以上で赤色になります。

取り込みの際、記述問題などでデータが自動で変換されます。  
○→キ、×→空欄  
△1、2→設定値の分数

## 10. 個票の出力

正答、配点、正誤、生徒の解答などは全て  
個票のシートにリンクされています。特に  
設定することなく、個票シートを通常通  
り印刷するだけで大丈夫です。